

活動目標 すこやかに育て いわてっ子

PTAいわて

虹のもと 賢く 明るく 逞しく 共に生きる生徒



「森のしずく公園清掃 御所地区の中学生」



「3学年 振る舞い餅」



「1学年 よしゃれ祭パレード」



「2学年 虹色コンパス」

雫石町立雫石中学校 PTA

No.175

令和5年7月1日発行

発行

一般社団法人岩手県 PTA 連合会
盛岡市みたけ三丁目 38-20

☎ 019-641-6444

E-Mail : pta@iwate-pta.or.jp

URL : http://www.iwate-pta.or.jp

印刷

山口北州印刷(株)
盛岡市青山四丁目 10-5

☎ 019-641-0585

本校は、町唯一の中学校であり、5小学校区から生徒を迎え入れる広大な地域にあります。

雫石町は人口1万6千人ほどで、自然が美しい「虹の似合うまち」であります。JR田沢湖線と国道46号線により、東に約16kmで結ばれる県都盛岡の衛星都市として発展してきました。教育に対する保護者の関心は高いです。また、本校に寄せる町民の期待も大変大きく、確かな学力と健全な心身の育成のため、地域と家庭が一体となり教育環境の充実を図るべく厚く学校を支援してくださっています。(事務局 古舘教之)

主な内容

- ・会長あいさつ、定時社員総会……………2
- ・令和5年度役員紹介……………3
- ・令和4年度決算、令和5年度予算……………4
- ・PTA広報コンクールの審査結果……………5
- ・提言「正しい姿勢」を手に入れて子ども達を守ろう！……………6
- ・北から南から……………7
- ・国内研修事業に参加して……………8

子供たちの笑顔のために、 知恵を出し合い活動していきましょ



一般社団法人岩手県PTA連合会
会長 山下 泰幸

会員の皆様におかれましては、日頃より本連合会の事業に対しまして、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。去る6月4日の定時社員総会におきまして、令和5年度の会長に承認いただきました山下泰幸と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

近年はコロナ禍により、私達を取り巻く環境が大きく変化し、学校行事やPTA活動が制限されて思うようにならない時期もありました。本連合会では、今できる最善の方法は何かを考え、セミナーや研修会をオンラインで開催するなど少しでも参加しやすい方法を選択して参りました。

現在を生きる私達にとって、よりPTA活動に参加しやすい仕組みを考え、きつかけになったと思います。今年度は新型コロナウイルスの位置付けが第5類へと見直され、徐々に活動を再開

していける年です。コロナ禍で培った教訓や成果を活かしながら、この時代に合わせたPTA活動のあり方を考え、会員の皆様とともに活動して参りたいと思います。

県内の子供たちが未来を思い描き自分のやりたい事に、夢中になれる環境を、私達保護者が情報を共有し手を取り合って作り上げていき、人と人の繋がりを大切にして関わる全ての人に感謝を持って活動している保護者の背中を、子供たちに見せて、地域に愛着のあるPTAを未来に繋げて行くように、ともに活動していきたいと思っております。

これまでと同様に、家庭・学校・地域・行政とが連携を取り合い、今以上に子ども達の笑顔が増えるよう、精一杯努めて参る思いを込めまして、会長挨拶といたします。

新たな年度のスタート —令和5年度定時社員総会—

6月4日(日)、今年度の定時社員総会を開催しました。3件の議案について審議し、すべて原案どおり承認されました。

1号議案

令和4年度事業報告の承認を求める件
昨年度に引き続き、コロナ禍の影響が様々ある中の事業でした。

7月には岩手県PTAリーダー研修会を3年ぶりに現地参加型で開催しました。オンライン配信も併用しての新しい形での研修会となりました。

家庭教育セミナーについて、花巻地区セミナーを3年ぶりに現地参加型で開催できたものの、一関地区セミナーは新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりましたが、全員の会員を対象としたYouTubeを使ったオンライン講演会という形式で実施しました。

2号議案

令和4年度収支決算の承認を求める件
予算額に対して支出額が抑えられま

した。全国研究大会は東北大会を兼ねて山形県で開催されましたが、セミナーが中止となったりオンライン形式となったことで、旅費等の助成が減額になったことなどが主な要因です。

3号議案

令和5年度役員選出に関する件
昨年度が2年に一度の役員改選の年でしたので、今年度は欠員となった理事・監事が新たに選任されました。その後、開催された新年度の理事・監事による第2回理事会において、新たに会長・副会長・常務理事が選定されました。(紹介は3ページ)



令和5年度役員を紹介します

令和5年度の会長・副会長・理事・監事を紹介します

(1)ブロック (2)所属・役職 (3)地区・市町村での役職

会長(代表理事)



山下 泰幸
(新任)

- ①盛岡ブロック
- ②松園小PTA会長

副会長(理事)



向井 隆
(継続)

- ①第1ブロック
- ②九戸中PTA会長
- ③二戸地区P連副会長



福田 育英
(新任)

- ①盛岡ブロック
- ②見前南中PTA副会長



高橋 貴士
(新任)

- ①第2ブロック
- ②柏台小PTA会長
- ③岩手地区P連会長



小川 さつき
(新任)

- ①第3ブロック
- ②上野中PTA会長
- ③和賀地区P連会長



金野 貴博
(継続)

- ①第4ブロック
- ②猪川小PTA会長



昆 尚人
(新任)

- ①第5ブロック
- ②山田小PTA会長
- ③山田町P連会長



山口 真樹
(継続)

- ①県母親委員会
- ②上田中PTA副会長
- ③県母親委員長

理事

藏谷 幸輔(新任)

- ①第1ブロック
- ②種市中PTA会長
- ③久慈地区P連会長

佐々木 勉(新任)

- ①第2ブロック
- ②紫波東学園PTA会長
- ③紫波地区P連会長

鎌田 哲暢(新任)

- ①第3ブロック
- ②花巻北中PTA会長
- ③花巻市P連会長

阿部 雄(新任)

- ①第3ブロック
- ②衣川中PTA会長
- ③胆江地区P連会長

河合 純子(新任)

- ①第4ブロック
- ②室根小PTA会長
- ③一関地方P連会長

岩城 覚(新任)

- ①第5ブロック
- ②吉里吉里小PTA会長
- ③上閉伊地区P連会長

久慈 孝(新任)

- ①岩手県中学校長会
- (盛岡・河南中学校)

佐藤 和史(新任)

- ①岩手県小中学校副校長会
- (黒石野中副校長)

八重樫千晶(継続)

- ①岩手県教職員組合
- (中央執行副委員長)

常務理事

西郷 晃(新任)

- ①県P連事務局長

監事

齋藤 勝(新任)

- ①第1ブロック
- ②普代小PTA会長
- ③久慈地区P連副会長

高橋 数馬(継続)

- ①盛岡ブロック
- ②杜陵小PTA会長
- ③矢野中PTA会長

女鹿 隆徳(新任)

- ①第2ブロック
- ②紫波地区P連会長
- ③矢野中PTA会長

後藤 貴昭(新任)

- ①第3ブロック
- ②黒沢尻東小PTA会長
- ③北上市P連副会長

芳賀 光(新任)

- ①第4ブロック
- ②廠美中PTA会長
- ③一関市P連副会長

大槌町P連会長



令和5年度予算の概要

I 事業活動収支の部		単位：円
1. 事業活動収入		
特定資産運用収入	1,000	
世帯割会費収入 (200 円)	15,000,000	
共済掛金収入 (600 円)	50,630,000	
参加費収入	3,000,000	
補助金等収入	150,000	
雑収入	48,000	
事業活動収入計	68,829,000	
2. 事業活動支出		
事業費支出	80,194,770	
管理費支出	6,979,930	
事業活動支出計	87,174,700	
事業活動収支差額	△ 18,345,700	
II 投資活動収支の部		
1. 投資活動収入		
特定資産取崩収入	1,000	
投資活動収入計	1,000	
2. 投資活動支出		
特定資産取得支出	1,955,714	
固定資産取得支出	200,000	
投資活動支出計	2,155,714	
投資活動収支差額	△ 2,154,714	
III 財務活動収支の部		
財務活動収入計	0	
財務活動支出計	0	
財務活動収支差額	0	
IV 予備費支出		
当期収支差額	△ 21,001,210	
前期繰越収支差額	607,202,080	
次期繰越収支差額	586,200,870	

令和4年度決算の概要

I 事業活動収支の部		単位：円
1. 事業活動収入		
特定資産運用収入	0	
世帯割会費収入 (200 円)	15,407,400	
共済掛金収入 (600 円)	52,311,600	
参加費収入	0	
補助金等収入	150,000	
雑収入	34,502	
事業活動収入計	67,903,502	
2. 事業活動支出		
事業費支出	57,491,594	
管理費支出	6,207,723	
事業活動支出計	63,699,317	
事業活動収支差額	4,204,185	
II 投資活動収支の部		
1. 投資活動収入		
特定資産取崩収入	100,000	
投資活動収入計	100,000	
2. 投資活動支出		
特定資産取得支出	2,027,315	
固定資産取得支出	0	
投資活動支出計	2,027,315	
投資活動収支差額	△ 1,927,315	
III 財務活動収支の部		
財務活動収入計	0	
財務活動支出計	0	
財務活動収支差額	0	
IV 予備費支出		
当期収支差額	2,276,870	
前期繰越収支差額	604,925,210	
次期繰越収支差額	607,202,080	

※詳細は令和5年度定時社員総会議案書をご参照ください。

本年度の主な事業予定

(詳細については、その都度ご案内します)

事業名	期日	開催場所
岩手県 PTA リーダー研修会	7/1 (土)	矢巾町・田園ホール
共済事業担当者事務説明会	7/28 (金)	いわて県民情報交流センター
日本 PTA 全国研究大会広島大会	8/25 (金)・26 (土)	広島県内 9 会場
紫波地区家庭教育セミナー	9/2 (土)	矢巾町・田園ホール
日本 PTA 東北ブロック研究大会 富谷黒川大会	10/14 (土)・15 (日)	富谷スポーツセンター他 5 会場
岩手県 PTA 連合会研究大会宮古大会 宮古地区家庭教育セミナー	12/9 (土)	宮古市民文化会館 他
日本 PTA 全国協議会年次表彰式	11/24 (金)	ホテルニューオータニ (東京)
岩手県 PTA 連合会年次表彰式	12/3 (日)	ホテルメトロポリタン盛岡
臨時社員総会	翌年 3/2 (土)	サンセール盛岡
国内研修事業 (中学 2 年生対象)	翌年 3 月下旬	(未定)

※ 7 月 1 日現在の予定です

「ぶちっこ」「みついし」が最優秀賞に輝く
岩手県PTA広報コンクール
入賞作品決まる

中学校の部

【最優秀賞】(1点)
 盛岡市立下小路中学校PTA

【みっこい】
 盛岡市立見前中学校PTA

【優秀賞】(1点)
 盛岡市立岩手南中学校PTA

【優良賞】(2点)
 盛岡市立岩手北中学校PTA

【優良賞】(2点)
 盛岡市立岩手南中学校PTA

【優良賞】(2点)
 盛岡市立岩手北中学校PTA

【優良賞】(2点)
 盛岡市立岩手南中学校PTA

【優良賞】(2点)
 盛岡市立岩手北中学校PTA

【優良賞】(2点)
 盛岡市立岩手南中学校PTA

【優良賞】(2点)
 盛岡市立岩手北中学校PTA

【優良賞】(2点)
 盛岡市立岩手南中学校PTA

【優良賞】(2点)
 盛岡市立岩手北中学校PTA

【優良賞】(2点)
 盛岡市立岩手南中学校PTA

【優良賞】(2点)
 盛岡市立岩手北中学校PTA

【優良賞】(2点)
 盛岡市立岩手南中学校PTA

【優良賞】(2点)
 盛岡市立岩手北中学校PTA

【優良賞】(2点)
 盛岡市立岩手南中学校PTA

【優良賞】(2点)
 盛岡市立岩手北中学校PTA

【優良賞】(2点)
 盛岡市立岩手南中学校PTA

【優良賞】(2点)
 盛岡市立岩手北中学校PTA

【優良賞】(2点)
 盛岡市立岩手南中学校PTA

【優良賞】(2点)
 盛岡市立岩手北中学校PTA

【優良賞】(2点)
 盛岡市立岩手南中学校PTA

【優良賞】(2点)
 盛岡市立岩手北中学校PTA

【優良賞】(2点)
 盛岡市立岩手南中学校PTA

【優良賞】(2点)
 盛岡市立岩手北中学校PTA

講評
 岩手県教育委員会生涯学習文化財課社会教育主事
 阿部 貴弘氏(審査委員)

PTA会長と生徒会長との座談企画など、斬新なアイデアに触れることができました。これまでの形にこだわらず、新しい企画や内容にチャレンジすることは、活動の活性化につながるものと考えます。

《優れていたところ》
 題字や記事の字体、写真のレイアウトなど、目を引く広報が多くありました。また、難しい内容の記事であっても、図やグラフを効果的に使うなど、「分かりやすく各会員へ届けよう」といった見る側の視点に立った広報の作成となっていました。

子ども活動の情報以外にも、保護者の活動を幅広く発信している広報が目にとまりました。全会員を対象とした活動だけでなく、役員の活動にも焦点を当てることにより、開かれたPTA活動に繋がると感じました。

地域の安全マップの掲載は、子どもの安心・安全な登下校につながる情報であり、保護者にとって大切です。また、学区の地域紹介など、改めて地域の情報を会員に知ってもらうことは、学校と家庭、地域が連携するための大切な取り組みの一つであると考えます。

《今後期待すること》
 脈々と継続されている企画や内容を大切にしている姿勢は、会員の安心感につながります。一方で、旬な話題や新しい内容の企画にチャレンジすることは、見る側の興味関心を惹きつけ、PTA活動に対し新鮮な気持ちを持つことに繋がります。

学校行事の写真掲載に留まることなく、その写真を保護者の視点を切り口に記事を作成するなど工夫があると、PTA主体の広報に生まれ変わる可能性があります。

PTA活動の目的は、「子どもの健全な育成」です。この根幹である大切な目的と、学校の教育目標の実現、さらには地域の特色も十分に生かされるような広報の制作・発行が続いていくことを期待しています。



PTA改革元年と位置付けリニューアルした「ぶちっこ」



PTA活動を考えるアンケートが盛り込まれた「みついし」

小学校の部

【最優秀賞】(1点)
 遠野市立土淵小学校PTA

【ぶちっこ】
 盛岡市立生田小学校PTA

【優秀賞】(2点)
 盛岡市立生田小学校PTA

【PTAだより 参加・協働】
 盛岡市立生田小学校PTA

遠野市立遠野小学校PTA

【だいにち】

【優良賞】(3点)
 盛岡市立城南小学校PTA

【城南】
 盛岡市立本宮小学校PTA

【もとみや】
 盛岡市立飯岡小学校PTA

【すずかけ】

【奨励賞】(4点)
 盛岡市立仁王小学校PTA

【におつ】
 盛岡市立中野小学校PTA

【なかの】
 一関市立山目小学校PTA

【蘭梅】
 遠野市立遠野北小学校PTA

【ひまわり】

提言

『正しい姿勢』

を手に入れて 子ども達を守ろう！

全国姿勢調整師会認定 姿勢調整師
一般社団法人KCS認定 姿勢科学士 多田 晃

お初にお目にかかります。

『姿勢の専門家*』の多田晃です。私は盛岡市と大船渡市で姿勢調整師として臨床活動を継続しております。私たちは定期的な姿勢調整の体験会や講座、県内在住の博士（健康科学）を招き講演会を開催するなど、啓発活動も行っております。この度は、岩手県内各地で実施している第15回岩手県民の健康を考える第15回会を開催するにあたり「岩手県PTA連合会様」から継続的に後援をいただいております。

岩手県姿勢調整師会主催講演会の様子



りましたが、ご担当者様からお声がかかり記事を書かせていただく事になりました。

・姿勢ケアはなぜ必要か

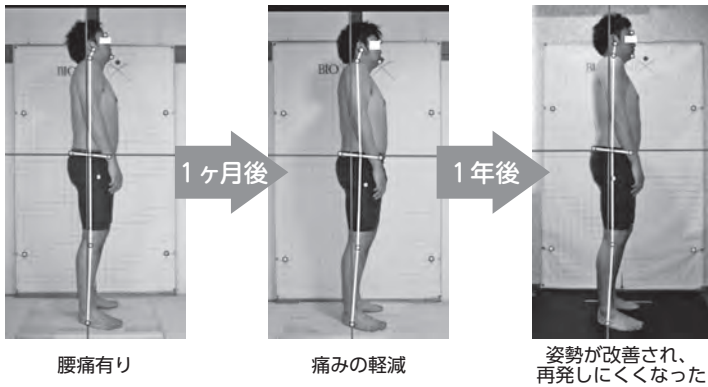
最初に私が担当させていただいているお客様の例をご紹介します。20代男性で腰痛の為、友人の勧めで来店。仕事をする際に前傾姿勢が長く続き、日常生活にも支障が出ているので何とかしたいとの相談。学生時代から腰を痛めて様々な所へ通い、施術を受けたときは痛みが楽になるもののまた痛みが出る状態が続き、半ば諦めていました。姿勢の分析と調整を行い、腰部に負担がかかりにくい状態をつくりました。再発防止のため、オーダーメイドのエクササイズプログラムや日常生活の見直しを提案し実施されたことで、「日常生活での痛みがほぼ無くなり、仕事に打ちこめる」と感想をいただいております。私は、この方のように、身体が痛くてやりたい事が満足にできない、挑戦できないと

いう方に多く出会いました。だからこそ、皆さんに姿勢が良くなる事が「特別なこと」ではなく、年齢や性別に関係なく、「どんな人でも姿勢を良くすることが出来る」という事を知っていただきたいです。

・良い姿勢を意識しても姿勢は良くならない

姿勢を良くするために絶対に欠かせない事があります。それは「姿勢を悪くしないよう、日常生活の中で何に気を付けるかを知る事」です。たまたま「良い姿勢になるように気を付けます」と言う方がいらつしゃいます。姿勢を良くすることを意識して良く見えるのは一瞬です。なぜならば、姿勢が悪くなる原因の一つに「生活習慣」があります。偏った身体の使い方やケガなど要因が積み重なり、今の姿勢の歪みとなりまます。これを解決するためには「生活習慣を見直す」事が重要です。最近はいンターネット、SNSやテレビなどあらゆるコンテンツに健康や姿勢の情報が溢れています。そのため、見つけた情報が「正しいか」、「その方の身体の状態に適した情報」とは限りません。だからこそ、これまで開催させていただいた講演会でも

姿勢が良くなり痛みが軽減された例（20代男性）



『その人にあつた情報を「取捨選択」できるだけの知識を学んでいただきたい』と講師からお伝えさせていただいております。また、ケガをされた後のケアに気を付けていただきたいです。例えば、足首を捻挫すると、どうしても捻挫した足をかばって生活してしまいます。痛みが治まってその時のクセが抜けないでいる方は多く見られます。昔、ケガをした事実を変えることはできませんが、ケガから回復された後のケアをちゃんと行うことで良い姿勢を手に入れるこ

プロフィール

多田 晃 (ただ あきら)

全国姿勢調整師会認定 姿勢調整師
一般社団法人KCS認定 姿勢科学士
UCLA 解剖実習修了
ウェスタンステイツ総合大学 姿勢科学 IDP 修了
KCS センター大船渡 店長
KCS センター盛岡南 所属
岩手県姿勢調整師会 所属
好きな言葉「元気があれば何でもできる」
盛岡市出身。東日本大震災のボランティアをきっかけに母の故郷である大船渡市で活動を始める。
現在、大船渡市と盛岡市の2か所で臨床活動を行っている。
臨床活動以外にも、講演会開催や体験会、姿勢講座などで姿勢の大切さについて啓蒙活動を行っている。



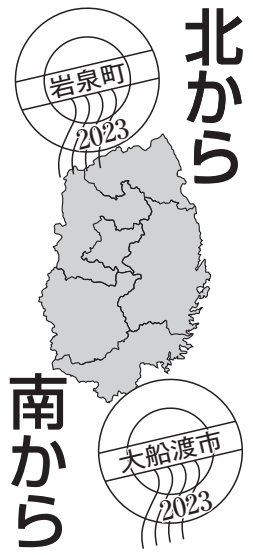
とに繋がります。子どもの姿勢が気になった際は、私たち「姿勢の専門家」がいることを思い出してください。私たちは、姿勢づくりを小さいころから取り組んで子どもたちが元気に成長できるように今後も活動を継続していきます。

・お問合せ

姿勢や身体のご相談、講演会や姿勢講座のご依頼のお問合せは「岩手県姿勢調整師会 徒手療法なんでも相談室」へ012015161861まで。

*2年以上の姿勢の専門教育を受けた者

特色あるPTA



参加しやすいPTA活動をめざして

岩泉町立岩泉中学校PTA

岩泉には地域全体で子供たちを育む風土があります。保護者や地域の皆様の中には、休みの日に自家用車で校庭を整備してくれたり、草刈り機で除草をしてくれたりする方々がいらっしやいます。日

頃から我が子のことだけでなく生徒全員のことを考えて協力する保護者が多くとても心強いです。PTA活動の本来の姿が根付いていることを感じます。

しかし、近年は生徒数が減少しているにもかかわらず、専門部や役員の数が多すぎるのではとの意見も出されるようになりました。そこで役員会や理事会において、組織や会議日数の見直しを行うことになりました。

今年度は活動内容を維持しつつ、これまで事業を担ってきた専門部を廃止し、各学年PTAで仕事を割り振るようにしました。学年



親子で校庭の環境整備

PTAは生徒数の3分の1で構成され、どの保護者にも三年のうち一年間ずつやっていただきます。また、役員のポストを精選し、理事を半数にしました。会議の開催日数も約半分にまで減らしてみることになりました。

今回の試みがよかったか、やってみなければ分からない面もありますが、より気持ちよく参加できるPTA活動をめざし、保護者の皆様や教職員と意見を交わしながら取り組んでまいります。

(校長 鈴木雅孝)

「ぬくもりと輝き」のある活動をめざして

大船渡市立東朋中学校PTA

本校は、令和3年4月に赤崎中学校と綾里中学校が統合して開校した新設校です。高台にある校地からは広く大船渡湾が見渡せます。校訓である「切磋琢磨」は、生徒たちの磨き合いを示すものであると同時に、生徒第一を旨として、赤崎・綾里両地域の保護

者、地域の皆様が建設的に進めた統合の象徴でもありません。開校時はすでにコロナ禍であったため、PTA活動も限られたものとなっていました。そのような状況の中でも地域や保護者の協力を得て取り組んだことを二つ紹介します。



漁船に乗船して洋上研修をさせていただきました



講演会では竹内まりやさんの「いのちの歌」を披露

まずは、水産教室です。保護者が勤務する地元漁協の全面的なご協力を得て昨年度実施することができました。子供たちは、アワビの養殖施設の見学や漁業を生業とする方々の講演、漁船に乗船して洋上見学をさせていただくなど、普段の学校生活では経験できない貴重な体験をさせていただきました。

二つ目は、今年度のPTA総会や授業参観と同日に開催したPTA講演会です。PTA教養部の事業の一つとして行われました。かつて中学校長や陸前高田市教育長をされていた金賢治氏を講師にお招きし、「今、伝えたいこと、東日本大震災を体験して」というテーマで講演していただきました。当日は、会場の生徒や保護者、教職員の心に響く、前向きな気持ちや元気になるあたたかいメッセージを頂戴し有意義なものとなりました。

今後も地域からお力添えをいただきながら、保護者と教職員の連携をより強固なものにし、子供たちのために「ぬくもりと輝き」のある活動を継続してまいりますと考えています。

(事務局 高橋克巳)

人とつながる

葛巻町立葛巻中学校2年

遠藤 亮銘



私がこの研修に参加したいと思った目的は、自分の地域の良い所と課題点を伝え合い地域について考えを深める事と、沖縄の文化を知らない人と、沖縄の文化を知らない人と、沖縄の文化を知らない人と、友達とふれあいながら学び、友達を作る事です。この研修を通して自分の心に残ったことが三つあります。

一つめはアイスブレイクです。他の人達との緊張をほぐすためみんなとゲームをしましたり、お互いの趣味を教えあいました。その中で班外の人も仲良くなりました。同じ趣味を持つ人と友達になり、もっと人と関わりたい、話したいと思うようになりました。二つめは野外炊事です。班の中で役割を分担し協力して

作ったカレーは、水が多くて味は薄かったけど、班内の人達と短い時間の中で絆が芽生え、深める事が出来たと思いました。そして人と協力し合う楽しさを学びました。

三つめは国際交流プログラムです。班内で渡されたそれぞれの地域のパンフレットを読み、自分の住む町についてプレゼンテーションをしました。みんなが住んでいる地域の良さを知ることができました。地域の課題を伝えあう際、その地域にあるとは思わなかった意外性を感じるものもたくさんあり、良い勉強になりました。この活動の最後に、地域の課題や改善方法を考え、それをみんなで発表しました。発表のために真剣に取り組みみんなの姿は素晴らし

いと感じました。そして私は人の考えや意見を共有し、ひとつの課題に取

り組むことの大切さと姿勢を学びました。

沖縄を離れる前日、全員でチャレンジ宣言をしました。私はそこで「人とつながる」と宣言しました。人とつながり、協力し合うことの楽しさと大切さをこの研修で学び、自分の世界をさらに広げたいと思ったからです。この五日間過ごした日々はとても刺激的であり、多くの友達ができ

たことは私の人生の宝物になりました。最後に、お世話になり支えて下さった渡嘉敷村の皆様、本当にありがとうございます。また沖縄を、渡嘉敷村を訪れたいです。



『PTA 希望支援金』のお知らせ

岩手県PTA連合会では、子どもたちの健やかな育ちを支援するPTAの復興支援や防災・減災の取り組み、大規模な自然災害等で被災したPTAとの交流など、PTAが企画・計画した活動に対して『PTA希望支援金』の助成を行っています。この支援金は、東日本大震災被災に対して寄せられた義援金等をあてているものです。

助成の対象は、岩手県PTA連合会に加盟する市町村PTAに所属する単位PTAです。申請す

る単位PTAは、活動内容、活動予算等を記した計画書を作成して、岩手県PTA連合会に提出し、提出された計画書を審査した上で、助成する単位PTAを決定します。助成額の上限額は5万円です。

『活動内容がPTA活動の一つとなっていること』『活動内容が復興支援や防災・減災の意識高揚の位置づけとなっていること』が条件です。この助成事業の詳細と申請用の様式は、県P連のホームページや総会資料をご覧ください。

編集後記

令和5年度がスタートしました。学校での子供たちの活動の様子から、昨年度までの活動制限が少しずつ元に戻りつつあるように感じられます。

PTA活動も、様々な制限がある中で出来ることを、みんなでアイデアを出し合いながら進めてきました。今年度は県研究大会宮古大会も開催します。

子供たちの元気な笑顔の姿を思い描きながら、みんなで学びあっていきたいものです。